

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月23日

団体名 額田バイオマス活用検討会

代表者 水野和康

構成員 12人(※令和8年4月1日時点の構成員数)


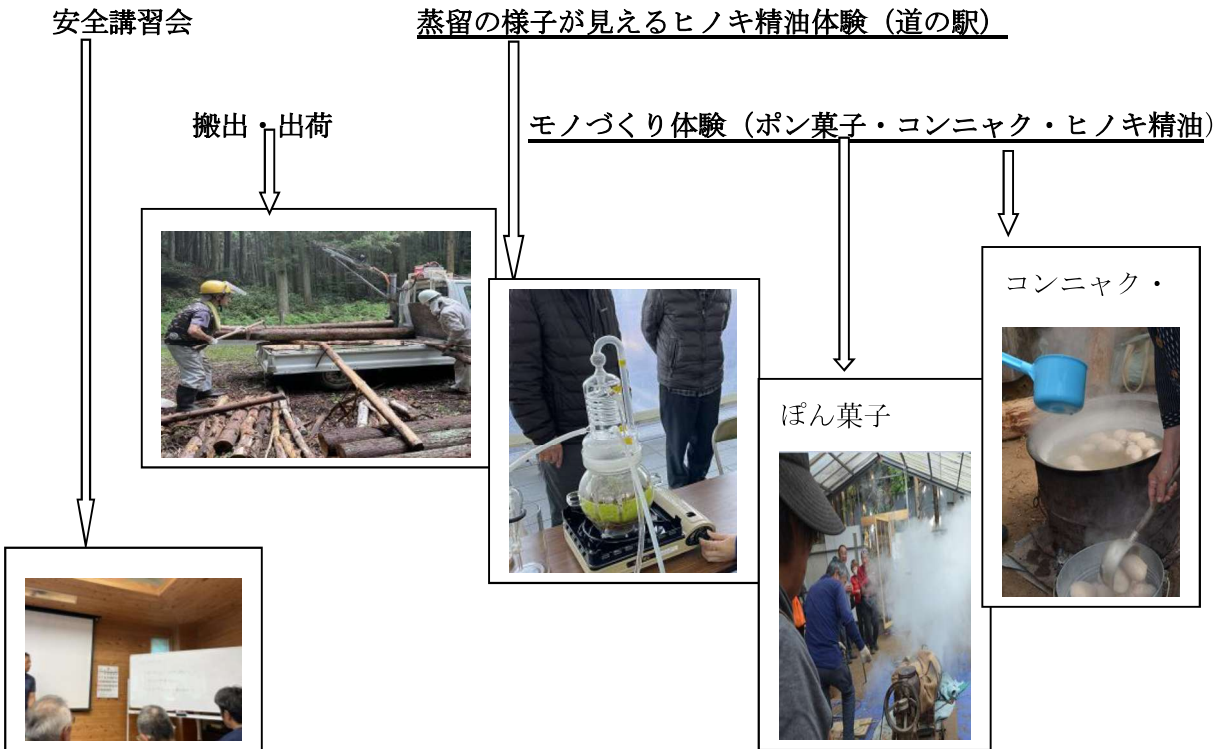
団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

- 1) 森林保全、森林資源有効活用、間伐の普及を目的に山ジム(林業作業・間伐・伐採・搬出体験)による森林整備を行う
- 2) 里山、広葉樹、針葉樹林など森林資源全体に目を向けたバイオマス有効活用を考える。
(燃料用チップ化・ペレット化の熱利用及びヒノキ精油ブレンドによる森林資源の活用検討)

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者(会員 以外)人数※1	活動内容
R7 4/6 ～ R6 3/28	・岡崎森林組合 ・夏山町ウルシガイツ森林:キノコハウス ・藤川宿道の駅 ・とはなす東部	参加者	114	<p>森林資源の利活用と太陽と自然の恵み学習として 以下のバイオマス活動を企画した</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 3人の山主さんとの契約による森林整備 : 伐採・搬出目標80m³ 伐採にともなう安全講習会や研修会への参加 2) 森の香りづくり体験としてのヒノキ精油 体験を場所と体験内容を変えて3回 <p>①林業クラブ安全講習会 日時: 4/6 (日) 10時～16時 場所: 森林組合 参加者: 30人 内容: 伐倒について安全性について (受け口追い口伐倒方向チェーンソー眼立など)</p> <p>②バイオマス活動拠点のキノコハウスの 屋根・外壁の補修完了した(～5/18) 参加者: 延べ30人</p> <p>③林業クラブ研修会 日時: 8/18 (木) 場所: 名古屋市資料館及び豊田市美術館 岡崎市豊富小学校など地元材を利用 した建物の見学 参加者: 20人</p> <p>④森の香りヒノキ精油体験を場所や体験内容 を変えて3回開催した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/30 (土) ヒノキ精油体験 場所: とはなす東部集会室 参加者: 20人 ・ 2/21 (土) 蒸留様子が見える精油体験 場所: 藤川宿道の駅 ・ 3/28 (土) 森の香りものづくり体験 場所: キノコハウス(夏山町香木40 ・ 参加者: 40人

4/27～ R8/1/ 31	岡崎市明見町大切17, 22	参加者	3人	森林整備活動として夏山町別沢と明見町大切で 1) 伐採・枝処理・玉切・はい積み 2) 搬出はユンボでダンプに積み込み出荷 面積(ha) 搬出量(m ³) 大切22 0.2ha 40m ³ 大切17 0.3ha 49m ³
				
R7 4/6 ～ R6 3/28	～森林資源の利活用とカーボンニュートラル及び太陽と自然の恵み学習として			安全講習会 搬出・出荷 蒸留の様子が見えるヒノキ精油体験 (道の駅) モノづくり体験 (ポン菓子・コンニャク・ヒノキ精油) ぼん菓子 コンニャク・
				額田木の駅PJ実行委員会 (毎月第1木曜日) 参加 木の駅PJへの出荷量 60m ³
4/3～R8 3/5	額田センタ	参加者	3人	

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

森林資源の利活用と地産地消を実現する森林整備と森の香りを体験する～ヒノキ精油及びものづくり体験などのイベントを通して森林資源の利活用による太陽の恵み及びカーボンニュートラルの取り組み体験

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

継続的に進めている

- ・2050年カーボンニュートラル実現に向けた森林資源（スギヒノキなど木質バイオマス）の利活用を考え～地産地消を実現する～
- ・バイオマスの活動拠点（キノコハウス）で地元と連携したものづくり体験（ぼん菓子・コンニャク
- ・ヒノキ精油づくり）の企画によりイベントの恒例化の準備ができた